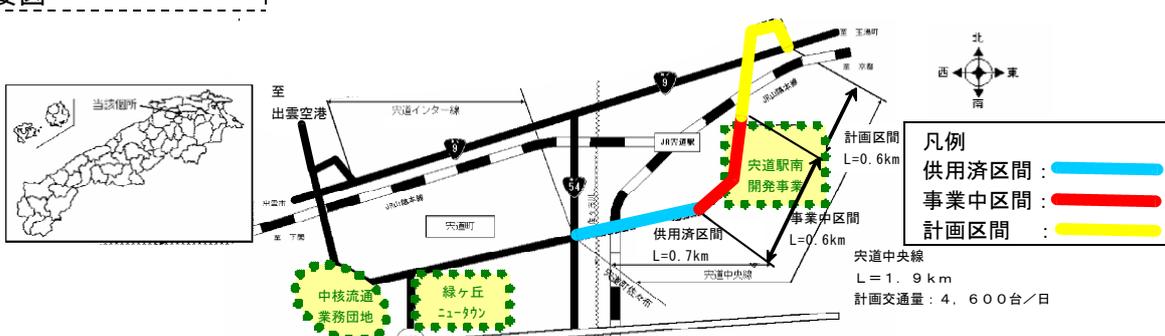


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：中国地方整備局都市・住宅整備課
担当課長名：石崎 隆弘

事業名 しんじちゅうおうせん 宍道中央線		事業区分 街路	事業主体 宍道町
起終点 しんじちょう おおあざ しんじ 宍道町 大字 宍道 国道9号 ～ しんじちょう おおあざ さそう 宍道町 大字 佐々布 国道54号		延長 1.92km	
事業概要 宍道中央線は国道9号から宍道駅南側地域を経由して国道54号に至る路線で、1.92kmの内、平成13年2月25日に第一次事業認可区間0.69kmを供用開始し、第二次事業認可区間0.63kmを事業実施している。この路線は、鉄道南側地域の開発幹線道路として整備し、新しい市街地形成を行うとともに宍道駅南側地域の住環境の向上を図り、更には国道9号・54号・県道宍道インター線とアクセスする交通ネットワーク化を担い、完成すれば宍道町市街地中心部から宍道インターチェンジ及び出雲空港へのアクセスの利便性が向上する。			
H2年度事業化		H2年度都市計画決定 (H7、11年度変更)	H3年度用地着手
全体事業費		約44億円	事業進捗率 79%
計画交通量		4,600台/日	
費用便益分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/事業全体 10/49 億円 〔事業費：10.4/48.9億円〕 〔維持管理費：0.03/0.1億円〕	総便益 (残事業)/事業全体 75/107 億円 〔走行時間短縮便益：73/105億円〕 〔走行費用減少便益：2/2億円〕 〔交通事故減少便益：0.03/0.23億円〕
	(残事業)	2.2	7.2
事業の効果等		<ul style="list-style-type: none"> ・活力ある円滑なモビリティの確保(宍道町市街地から出雲空港及び宍道ICへのアクセス向上が見込まれる)宍道町市街地から出雲空港及び宍道ICへのアクセス向上が見込まれる) ・活力ある都市の再生(周辺開発の幹線道路として、沿線まちづくりとの連携が期待される) 	
関係する地方公共団体等の意見 出雲・宍道湖・中海地方拠点都市地域の基本計画に宍道インターチェンジ周辺拠点地区として位置付けられ、松江・八束合併協議会新市まちづくり計画の主要施策である。宍道駅南開発事業と併せて事業実施する事によりアクセス向上はもとより住環境改善を図り、住宅供給を促進する。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 第一次認可区間が供用し、第二次認可区間が施工中であるが、沿線には住宅開発や飲食店の営業が見られる。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 順次整備を進めており、現在までに第一次認可区間の0.69kmを供用開始し、第二次認可区間0.63kmを事業実施中である。なお、残事業は、第3次認可区間(平成20～30年度予定)0.60kmである。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成12年度に第一次認可区間が全線供用し、第二次認可区間は、平成19年度に供用予定である。			
施設の構造や工法の変更等 工事施工にあたって、コスト縮減に資する調達方法の採用や新技術の積極的導入などに努める。			
対応方針		事業継続	
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			
			

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。